

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 中央手術部に  
勤務していた、また現在、勤務している看護師へ

和歌山県立医科大学附属病院 中央手術部では以下の看護研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去のインシデントレポートと術中看護記録（電子カルテ GAIA）を振り返り解析する看護研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究です。対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身のインシデントレポートが利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

手術器械の紛失・誤廃棄に関するインシデントレポートの分析

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 中央手術部 副主查看護師 三原依子

3. 研究の目的

本研究は、当手術部の器械の紛失・誤廃棄が生じる背景、要因を明確にすることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となるインシデントレポート

2014年4月から2020年3月までの期間中に生じた手術器械紛失・誤廃棄のインシデントレポート

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、インシデントレポートの背景・要因、紛失・誤廃棄した器械の種類、診療科、紛失時期、発見場所、手術室経験年数、勤務時間帯、器械出し看護師の有無、緊急手術の有無、看護師の交代回数です。

(3) 方法

レポートに記載された背景・要因に加え、さらに術中看護記録（電子カルテ GAIA）を遡り検索し、器械出し看護師の有無、緊急手術の有無、看護師の交代回数を明らかにします。「事例の背景・要因」「具体的内容」の生データの言葉をそのまま分け、コード化していきます。そして、関連性のあるコードに抽象的な文章をつけ、サブカテゴリーを作成し、さらにカテゴリー化していきます。研究目的がぶれないよう研究者間で解釈を深め、内容の妥当性を確認しながら分析していく予定です。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報は、個人が特定できる情報を得ることはありません。また、研究成果は学会で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

ご自身のインシデントレポート及び術中看護記録を検索されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

7. 資金源及び利益相反等について

研究責任者・分担研究者の研究期間の研究に係る報告すべき利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 中央手術部 副主查看護師 三原依子

TEL : 073-447-2300 内線 2466

E-mail : sangen@wakayama-med. ac. jp